

# 日本災害情報学会第29回学会大会 大会プログラム



令和6(2024)年11月8日(金)～10日(日)  
会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター 2階・3階

◎11月8日(金)	エクスカーション(事前申込者限定)	
◎11月9日(土)		
09:30	受付開始	[2階 ホワイエ]
10:00-11:10	口頭発表(セッション1)	[A・B・C会場]
11:20-12:45	口頭発表(セッション2)	[A・B・C会場]
13:50-15:20	ポスターセッション	[3階 ホワイエ]
15:30-18:00	公開シンポジウム	[A会場]
18:45-	懇親会(事前申込制)	[ホテル日航新潟 4階 朱雀]
◎11月10日(日)		
09:00	受付開始	[2階 ホワイエ]
09:30-10:55	口頭発表(セッション3)	[A・B・C会場]
11:05-12:30	口頭発表(セッション4)	[A・B・C会場]
13:50-15:15	口頭発表(セッション5)	[A・B・C会場]
15:25-16:35	口頭発表(セッション6)	[A・B・C会場]

## 【参加方法・参加費など】

	正会員(名誉会員・賛助・購読会員含む)	学生会員	非会員(一般)	非会員(学生)
大会参加費	4,000円	2,000円	8,000円	4,000円

	社会人(社会人学生含む)	学生
懇親会参加費	6,000円	3,000円

- 学会大会ならびに懇親会に参加をご希望される方は、以下のURL(STORES)から参加チケットを購入してください。(どちらも参加される方は、「入場チケット」と「意見交換会参加チケット」をご購入ください)  
購入サイト <https://kst123.stores.jp/>
- 購入後、登録したメールアドレスにチケット(PDF)が届きます。
- 学会大会ならびに意見交換会(交流会)に参加される方は、受付でチケットの提示をお願いします。
- 現地での参加費の支払いはご遠慮ください。
- 領収書は後日、学会事務局よりメールにてお送りいたします。領収書の個別希望への対応はできません。
- 予稿集のURLもチケットに記載されています。

# 【大会会場案内（アクセスマップ）】

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 2階・3階



## 【大会会場案内 (会場内)】

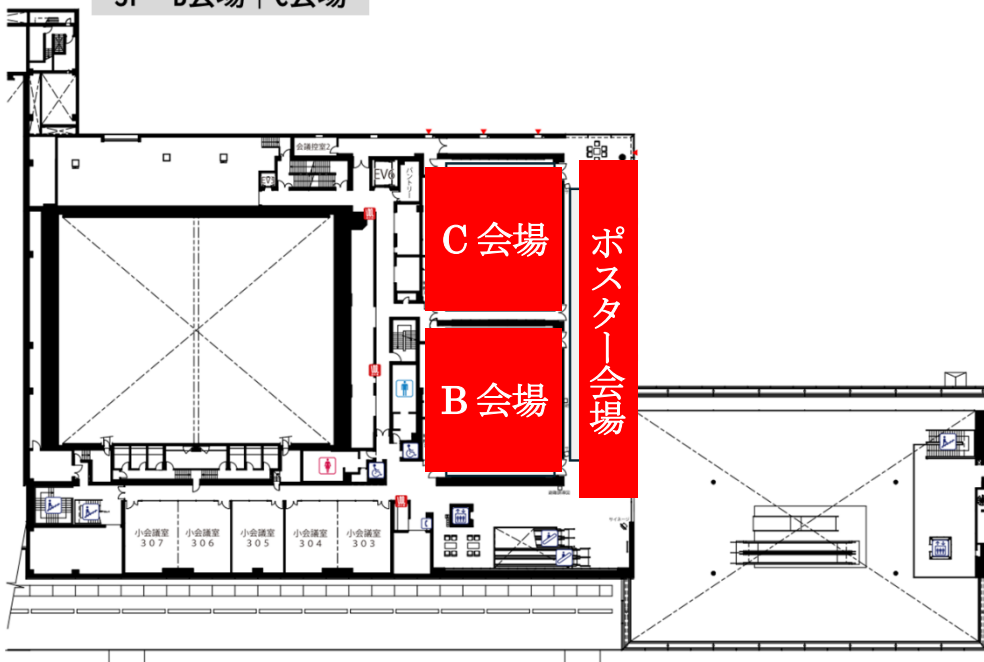
会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 2階・3階



MESSE  
コンベンションセンター  
新潟市中央区中央1-1-1  
TEL: 025-246-8111

ベンチ	サイネージ	移動用車椅子・ベビーカー	パス	車にて	トイレ	エスカレーター	エレベーター	公衆電話
ゴミ箱	車道	ゴキブリ	避難経路	車椅子対応トイレ	階段	授乳室	消火栓	

## 3F B会場 | C会場



KI MESSE  
新潟コンベンションセンター  
新潟市中央区中央1-1-1  
TEL: 025-246-8111

サイネージ	パス	トイレ	エスカレーター	エレベーター	喫煙所	消火栓
ベンチ	避難経路	車椅子対応トイレ	階段	自動販売機	公衆電話	

非常出入口

【大会会場案内 (ランチガイド)】

朱鷺メッセ内のランチ会場をご案内します。



# 朱鷺メッセ ランチガイド

## 1 31F展望室 パノラマ

地上125mから雄大な景色を眺めながらお食事を楽しめる軽食レストランラウンジ。

主なメニュー

- カレーライス
- 丼もの各種
- アイス各種



10:00~20:00 約50席 現金のみ  
025-240-1511

## 2 ホテル日航新潟3F セリーナ

明るく開放的な店内。旬の食材を使ったバイキングの他、多彩な料理をお楽しみください。

主なメニュー

- ランチバイキング
- セットランチ



11:30~14:00 90席 ※個室有(15名様まで)  
現金、カード(ダイアス、JCB、DC、VISA、UC、UFJ、AMEX、銀聯 他)  
025-240-192B

## 3 ホテル日航新潟3F 中国料理 桃李

香港点心師の技を気軽に楽しめる飲茶バイキングが人気。デザート4種もお好きにだけ。

主なメニュー

- 飲茶ランチ
- バイキング
- まる得ランチ



11:30~14:00 100席  
現金、カード(ダイアス、JCB、DC、VISA、UC、UFJ、AMEX、銀聯 他)  
025-240-1941

## 4 Bambi



信濃川を眺めながらランチをお楽しみください。



10:00~18:00(ランチ11:00~14:30)  
50席 現金とカード各種(銀聯可)  
025-249-3641

## 5 エプリーワン(コンビニエンスストア)

お弁当・文房具・お土産など各種取り揃えてお待ちしております。



7:30~20:00 現金とカード各種  
025-241-1600

## 6 カフェスポット

ゆっくりランチはいかがですか。

主なメニュー

- 焼サンドイッチ
- 日替りランチ
- ハンバーグプレート



8:00~18:00(ランチ11:00~14:00)  
45席 現金のみ  
025-241-5655

## 7 佐渡汽船ターミナル 立喰コーナー

お手軽なおそばなどの立喰コーナーです。

主なメニュー

- 海苔そば・うどん
- ラーメン
- カレーライス



現金のみ

## 8 ときめきラーメン万代島

新潟のラーメンが各種お楽しみいただけます。



現金のみ  
※定休日・営業時間は各店舗により異なります。

## 9 ピアBandai

朱鷺メッセから徒歩10分

海鮮食堂や回転寿司店、ラーメン店等の食事処が揃っています。



※定休日・営業時間は各店舗により異なります。  
025-249-2560(万代にぎわい創造株式会社)  
<http://www.bandai-nigiwai.jp/>

営業時間 席数 お支払い方法 お問い合わせ



### 【学会に参加する全員の方に対する諸注意】

- チケットの購入は必ず事前に行ってください。
- オンラインでの中継はありません。
- 大会参加受付は、2階ホワイエです。会場にお越しの際は、受付にてチケット（電子または印刷したもの）を提示し、会場内にお入りください。
- 現地のネットワーク回線は TOKIMESSE\_FreeWiFi 等が使用可能です。
- 学会大会で使用する（指定された）会場以外の会議室等には、絶対に入室しないでください。
- 発生したごみについては、各自でお持ち帰りいただくようお願いします。
- 貴重品の管理は各自の責任においてお願いいたします。万が一、盗難等の被害が発生しても、大会実行委員会では一切の責任を負えません。

### 【口頭発表される方全員に対する諸注意】

- 発表で使用する PC やコネクタ（会場では HDMI 端子利用可）等は各自でご用意ください。実行委員会では機材貸出・技術的サポートの用意はありません。
- なお、**Mac をお使いの方は会場機材との接続を必ず確認**していただきますようお願いいたします。
- 発表 1 件につき、10 分発表+5 分質疑です。各セッションの最後に 10 分の総合討論の時間を設けます。なお、時間経過は以下のタイミングでお知らせしますが、念のため、お手元等でも計測をお願いします。
  - 8分 1 鈴
  - 10分 2 鈴（発表終了）
  - 15分 3 鈴（質疑応答終了）
- 動画を流す場合は、なるべくパワーポイントに埋め込む形にしてください。
- 優れた口頭発表には、「優秀発表賞」を授与いたします（若手研究者・学生（40 歳以下）が対象）。なお、過去に阿部賞／河田賞／若手研究発表会・若手発表奨励賞（2021 年 4 月開催）／学会大会優秀発表賞を受賞した方は対象外となります。
- 発表を辞退する場合も、学会大会実行委員会・研究発表担当まで必ずご連絡ください。

### 【ポスター発表される方全員に対する諸注意】

- 発表者には、受付時に「発表者リボン」と貼付用品をお渡しします。発表終了後、受付にご返却下さい。ポスターの掲示位置は、3階ホワイエの展示パネル（サイズ：縦向き 高さ 210cm×幅 90cm）に貼付された「発表番号」で確認してください。「発表番号」はプログラム内で指定しますので、各自ご確認ください。
- ポスター発表の時間は「前半」と「後半」で設定しています。「前半」または「後半」のいずれかに在席責任時間を指定します。発表者は、指定された在席責任時間には発表者リボンをつけて、ポスターの前で参加者からの質疑に応じて下さい。在席責任時間は学会大会実行委員会が指定します。
- 11 月 9 日（土）にポスター発表受付へお越しいただき、ポスターを掲示してください。なお、発表後、ポスターは 10 日（日）17 時までに撤去してください。
- 必要に応じて当日、追加資料は各自で必要部数を用意してください（学会の方ではコピー等を行いません）。ただし、発表会場での机の利用はできません。電源や機材等を使用については申し込み時点ではありませんでしたが、使用する場合は別途、ご連絡ください。
- 優れたポスター発表には、「優秀ポスター発表賞」を授与いたします（若手研究者・学生（40 歳以下）が対象）。なお、過去に阿部賞を受賞した方は対象外となります。
- 「優秀ポスター発表賞」の審査希望者は、11 月 1 日（金）までに大会委員会宛（[jasdis.taikai@gmail.com](mailto:jasdis.taikai@gmail.com)）にポスターデータの PDF をお送りください（締切厳守）。

お困りの際は、以下まで連絡をください。

学会大会実行委員会・研究発表担当 [jasdis.taikai@gmail.com](mailto:jasdis.taikai@gmail.com)

## ●シンポジウム概要

### 日本災害情報学会 25 周年記念 公開シンポジウム 「新潟地震 60 年——新潟地震と現代的意味——」

開催日時：2024 年 11 月 9 日（土）15 時 30 分～18 時 00 分（15 時 00 分受付開始）

参加費：無料（会員以外は要事前申込）

申込先：

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeUghKfJzWbatyysYstaOXZM0qHUkvKlA51qxEGTPCmwl92ew/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeUghKfJzWbatyysYstaOXZM0qHUkvKlA51qxEGTPCmwl92ew/viewform?usp=sf_link)

会場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター（2 階 メインホール B）

主催：日本災害情報学会

協賛：一般社団法人日本損害保険協会

後援：新潟県、北陸地方整備局、防災・減災 新潟プロジェクト 2024 実行委員会、新潟地方気象台

内容 1964（昭和 39）年 6 月 16 日に発生した新潟地震は、沿岸部への津波、市内での液状化、石油コンビナートでの火災などをもたらし、死者 26 名、全壊 1,960 棟などの甚大な被害をもたらした。近代化した日本の都市を襲った初めての大規模地震と言われている。また、この地震を踏まえ、地震保険制度が創設された。この地震について改めて学び、令和 6 年能登半島地震での液状化の発生などを含めた、新たな知見をふまえ、現代の地震災害と防災について考えることとする。

開会挨拶 花角 英世（新潟県知事）

基調講演 入江 さやか（松本大学地域防災科学研究所 教授）  
「新潟地震—60 年前の災害報道から見えるもの—」

講演 吉田 律人（公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 横浜都市発展記念館 主任調査研究員）  
「新潟地震と復旧・復興」

卜部 厚志（新潟大学災害・復興科学研究所 教授）  
「新潟地震と液状化」

流 友之（一般社団法人日本損害保険協会 業務企画部長）  
「地震保険の歴史的経緯」

井川 恭一（新潟日報社報道部）  
「新潟地震 60 年報道 ～広域被害、次世代への視点～」

閉会挨拶 岩田 孝仁（日本災害情報学会長）

●発表スケジュール（簡易版）

日本災害情報学会第29回学会大会プログラム

1日目（11月8日 ※事前申込制）

エクスカーション	塩川酒造等 液状化被災地（国道旧116号）
----------	-----------------------

2日目（11月9日 9：30受付開始 受付：朱鷺メッセ 2階ホワイエ）

	メインホール 口頭発表 A会場	中会議室 301 口頭発表 B会場	中会議室 302 口頭発表 C会場
セッション1 10:00-11:10	メディア・コミュニケーションⅠ 座長：開沼 博	気象・水害Ⅰ 座長：本間 基寛	システム 座長：有馬 昌宏
セッション2 11:20-12:45	メディア・コミュニケーションⅡ 座長：西村 太志	気象・水害Ⅱ 座長：永松 伸吾	核・原子力 座長：地引 泰人
昼休み 12:45-13:50			
ポスターセッション 13:50-15:20	朱鷺メッセ 3階 ホワイエ		
シンポジウム 15:30-18:00	A会場：メインホール		
懇親会 18:30-	ホテル日航新潟 4階 朱鷺		

3日目（11月10日 9：00受付開始 受付：朱鷺メッセ 2階ホワイエ）

	メインホール 口頭発表 A会場	中会議室 301 口頭発表 B会場	中会議室 302 口頭発表 C会場
セッション3 09:30-10:55	能登半島地震Ⅰ 座長：有吉 恭子	気象・水害Ⅲ 座長：加村 邦茂	医療と健康 座長：田中 勝也
セッション4 11:05-12:30	能登半島地震Ⅱ 座長：中村 功	気象・水害Ⅳ 座長：荒木 裕子	復興・伝承 座長：廣井 悠
昼休み 12:30-13:50			
セッション5 13:50-15:15	南海トラフ地震臨時情報Ⅰ 座長：作間 敦	メディア・コミュニケーションⅢ 座長：竹之内 健介	地震・津波・火山Ⅰ 座長：岡田 夏美
セッション6 15:25-16:35	南海トラフ地震臨時情報Ⅱ 座長：関谷 直也	メディア・コミュニケーションⅣ 座長：中森 広道	地震・津波・火山Ⅱ 座長：及川 康

●口頭発表スケジュール（詳細版）

11月9日（土）10:00～11:10 セッション1

朱鷺メッセ2階 メインホール（A会場）

A1 メディア・コミュニケーションI（座長 開沼 博）

- A1-1 福島県外避難者に対する情報提供支援に関する研究  
ーダイジェスト版新聞における情報量の地域バランスー  
静間 健人（東日本大震災・原子力災害伝承館）
- A1-2 福島差別のアンコンシャス・バイアス：メディアにおける「商売の道具」化と責任回避の分析  
相本 啓太（ジャーナリスト）  
開沼 博（東日本大震災・原子力災害伝承館／東京大学大学院情報学環）
- A1-3 「やさしい日本語」の実践における日本人学生の書き換えに対する難しさと自信の変化  
岡野 靖子（神戸大学 人文学研究科）
- A1-4 基本的な防災用語・防災活動に関する内容の違い  
竹 順哉（京都大学大学院 情報学研究科）  
矢守 克也（京都大学防災研究所 巨大災害研究センター）

11月9日（土）10:00～11:10 セッション1

朱鷺メッセ3階 中会議室301（B会場）

B1 気象・水害I（座長 本間 基寛）

- B1-1 気象業務法における警報の伝達義務導入の歴史的経緯  
富澤 周（東京大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻）
- B1-2 「正答」率から考える「わかりやすい」防災気象情報  
ー気象庁・防災気象情報に関するアンケート調査の活用  
前田 智宏（京都大学大学院 情報学研究科）  
矢守 克也（京都大学 防災研究所）
- B1-3 調査協力報酬が風水害からの避難意向に与える影響  
関口 優（群馬大学大学院理工学府 博士前期課程環境創生理工学教育プログラム）  
金井 昌信（群馬大学大学院理工学府）
- B1-4 ゲリラ豪雨の特性に着目したゲーミングの開発と それを活用したワークショップの試み  
南 貴久（（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター）  
山口 章子（大阪管区气象台 気象防災部 予報課）  
竹之内健介（香川大学 創造工学部）  
米田 幸生（環境省 近畿地方環境事務所）  
藤田 浩史（（一財）日本気象協会）  
中北 英一（京都大学 防災研究所）



11月9日(土) 10:00~11:10 セッション1

朱鷺メッセ3階 中会議室302 (C会場)

**C1 システム (座長 有馬 昌宏)**

C1-1 共助による避難のための情報共有アプリの開発と避難訓練での試行

丸井 健 (愛媛大学 工学部工学科)

藤森 祥文 (愛媛大学大学院 理工学研究科環境建設工学講座)

羽鳥 剛史 (愛媛大学 社会共創学部環境デザイン学科)

松村 暢彦 (愛媛大学 社会共創学部環境デザイン学科)

芝 大輔 (愛媛大学大学院 地域レジリエンス学環)

森脇 亮 (愛媛大学大学院 理工学研究科環境建設工学講座)

C1-2 生成 AI を利用した図上訓練サポートシステムにおける RAG による精度向上の検討

後藤 裕瑛 (株式会社構造計画研究所)

李 知殷 (株式会社構造計画研究所)

小山 智加 (株式会社構造計画研究所)

平野 剛 (株式会社構造計画研究所)

米山 照彦 (株式会社構造計画研究所)

C1-3 大規模災害時のインフラ施設被害を迅速に情報共有するシステムの構築と試行実証

横山 暢広 (国際航業株式会社)

島田 徹 (国際航業株式会社)

土屋 奏 (国際航業株式会社)

林 大貴 (国際航業株式会社)

鈴木 貴博 (愛知県建設局土木部建設企画課)

杉山 良智 (愛知県建設局土木部建設企画課)

C1-4 避難のために利用できる防災情報の現状と課題

有馬 昌宏 (兵庫県立大学 応用情報科学研究科)

川向 肇 (兵庫県立大学 社会情報科学部)

**11月9日(土) 11:20~12:45 セッション2**

**朱鷺メッセ2階 メインホール (A会場)**

**A2 メディア・コミュニケーションⅡ (座長 西村 太志)**

- A2-1 福島復興を再興する：双葉町・大熊町・富岡町・浪江町の飲食店事業者の語りから (3)  
「チャレンジショップ制度」について  
吉田 豊 (筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群)  
根本 豪己 (東京大学 工学部都市工学科)  
山田 拓実 (東京大学大学院 情報学環)  
開沼 博 (東京大学大学院 情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館)
- A2-2 なぜキャラクターIP を活用した防災書籍は少ないのかー書籍編集者への半構造インタビュー調査より  
宮原 大樹 (株式会社 KADOKAWA)  
開沼 博 (東京大学大学院情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館)
- A2-3 「災害を伝える」というコミュニケーション過程に関する研究  
多田 健太 (東京大学大学院学際情報学府)  
内田 充紀 (元 東京大学大学院学際情報学府)  
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
- A2-4 スマートフォンにおける災害情報通知の特徴-Yahoo! JAPAN アプリ PUSH 通知の開封率の分析-  
三宅真太郎 (LINE ヤフー株式会社 ヤフーメディア統括本部 ニュース編集1部／  
東京大学大学院 学際情報学府 学際情報学専攻)  
安本 真也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)  
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
- A2-5 新聞データベースにもとづく大地震・火山噴火後の報道量の時間変化の特徴  
西村 太志 (東北大学 大学院理学研究科 地球物理学専攻)  
齋藤さやか (東北大学 大学院理学研究科 理学教育研究支援センター)

**11月9日(土) 11:20~12:45 セッション2**

**朱鷺メッセ3階 中会議室301 (B会場)**

**B2 気象・水害Ⅱ (座長 永松 伸吾)**

- B2-1 ため池とため池決壊リスクの認知に関する調査  
上道 葵 (株式会社サーベイリサーチセンター)  
藁谷峻太郎 (株式会社サーベイリサーチセンター)  
岩崎 雅宏 (株式会社サーベイリサーチセンター)
- B2-2 土砂災害警戒関連情報システムの導入と地域ガバナンスの変容  
赤沼龍之介 (京都大学大学院情報学研究科)  
畑山 満則 (京都大学防災研究所 巨大災害研究センター)
- B2-3 水害発生時の状況要因を用いた避難意思決定に関する課題の検討  
川上 真穂 (群馬大学大学院理工学府 環境創生理工学教育プログラム)  
金井 昌信 (群馬大学大学院理工学府)

- B2-4 水害ハザードマップの避難方法検討促進効果の検証  
加藤 直樹 (群馬大学大学院理工学府 環境創生理工学教育プログラム)  
金井 昌信 (群馬大学大学院理工学府)
- B2-5 早期警報システムはなぜ機能しないか：モザンビーク国リクンゴ川流域のケーススタディ  
永松 伸吾 (関西大学大学院社会安全研究科／国立研究開発法人防災科学技術研究所 災害過程研究部門)  
Brazao Mendes Domingos (関西大学大学院社会安全研究科)

**11月9日(土) 11:20~12:45 セッション2**

**朱鷺メッセ3階 中会議室302 (C会場)**

**C2 核・原子力(座長 地引 泰人)**

- C2-1 シェルターの有無による核ミサイル攻撃時の生存確率式の提案  
加瀬 典文 (防衛大学校 防衛学教育学群国防論教室)  
石川 信隆 (防衛大学校)
- C2-2 新潟県の原子力防災の取組の状況  
金内 大 (新潟県防災局)  
諏訪 博則 (新潟県防災局)  
飯吉 栄輔 (新潟県防災局)  
金子 信之 (新潟県防災局)
- C2-3 東電福島第一原発事故後5日間における時空間情報の統合による放射線防護対策の検証(1)  
中尾 虹海 (福井大学 工学研究科)  
吉田佳乃子 (福井大学 工学研究科)  
弓削 湧輔 (福井大学 工学研究科)  
谷山勇士朗 (福井大学 工学研究科)  
安田 仲宏 (福井大学附属国際原子力工学研究所／東日本大震災・原子力災害伝承館)
- C2-4 処理水海洋放出から1年の社会的影響 北海道のホタテ生産・加工に注目して  
花岡 桃可 (東京大学大学院 学際情報学府)  
三木 菜摘 (東京大学 教養学部)  
洪 瑋廷 (東京大学大学院 学際情報学府)  
奥山 泰冴 (福島大学 共生システム理工学類)  
根本 豪己 (東京大学 工学部)  
原 まりこ (東京大学 教養学部)  
関口 裕士 (北海道新聞)  
開沼 博 (東京大学大学院 情報学環／東日本大震災・原子力災害伝承館)
- C2-5 東日本大震災後の放射線安全基準の討議過程における国際機関の組織間関係の予備的検討  
地引 泰人 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)  
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

11月10日(日) 9:30~10:55 セッション3

朱鷺メッセ2階 メインホール (A会場)

A3 能登半島地震I (座長 有吉 恭子)

A3-1 令和6年能登半島地震における被災世帯の居留意向に関する研究  
—2024年6月時点仮設住宅居住者を対象に—

鍵 慶和 (東京大学大学院学際情報学府)

安本 真也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

石橋 真帆 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

A3-2 令和6年能登半島地震被災者アンケートからみる避難行動と日ごろの備え

宮澤明日香 (株式会社サーベイリサーチセンター)

水口 行雄 (株式会社サーベイリサーチセンター)

岩崎 雅宏 (株式会社サーベイリサーチセンター)

村田 晶 (金沢大学 地震工学研究室)

西 靖典 (珠洲市 令和6年能登半島地震復旧・復興本部事務局)

A3-3 令和6年能登半島地震における災害対策本部会議資料の変遷—石川県輪島市の事例—

塩津 達哉 (吹田市 総務部危機管理室)

有吉 恭子 (吹田市 総務部危機管理室/関西大学)

柴野 将行 (吹田市 総務部危機管理室)

越山 健治 (関西大学)

中本 健太 (輪島市総務部防災対策課)

竹原 拓馬 (輪島市総務部防災対策課)

A3-4 地震直後にみられた凍りつき症候群：2024年能登半島地震のアンケート調査から

井上 能行 (名古屋大学情報学研究科)

山本 竜大 (名古屋大学情報学研究科)

西尾 述志 (株式会社中日新聞社編集局)

城石 愛麻 (株式会社中日新聞社編集局)

澁谷 輝 (株式会社中日新聞社電子メディア局)

A3-5 災害対応初動期における安否不明情報処理プロセスのアクター分析：

令和6年能登半島地震での輪島市を事例に

有吉 恭子 (吹田市 総務部危機管理室/関西大学)

柴野 将行 (吹田市 総務部危機管理室)

北野 翔 (輪島市 防災対策課)

中本 健太 (輪島市 防災対策課)

佐々木俊介 (早稲田大学)

越山 健治 (関西大学)

**11月10日(日) 9:30~10:55 セッション3**

**朱鷺メッセ3階 中会議室301 (B会場)**

**B3 気象・水害Ⅲ (座長 加村 邦茂)**

B3-1 災害事例による気象情報・防災対応の疑似体験ツール

高瀬 邦夫 (名古屋大学 減災連携研究センター)

武居 信介 (名古屋大学 減災連携研究センター)

B3-2 機械学習モデルを使ったパーソナリティ特性による避難行動予測モデルの構築

江戸 克栄 (県立広島大学大学院 経営管理研究科)

佐藤 賢吾 (株式会社サーベイリサーチセンター)

藤本 健二 (株式会社サーベイリサーチセンター)

綿貫 真也 (流通科学大学 商学部)

B3-3 2023年の風水害人的被害発生場所と防災気象情報

牛山 素行 (静岡大学防災総合センター)

本間 基寛 (日本気象協会)

向井 利明 (気象庁)

B3-4 気象に関する防災情報の認知と住民避難に関する考察

～「水害からの避難」に関するWEBモニターアンケートより

中山準之助 (日本放送協会 放送文化研究所 世論調査部 (研究員) / 東京大学大学院学際情報学府)

関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

B3-5 タイムライン策定と訓練を通じた課題発見と合意形成

加村 邦茂 (環境防災総合政策研究機構 (CeMI) 環境・防災研究所)

丸山 和訓 (国土交通省北海道開発局網走開発建設部)

森岡洸太郎 (国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部)

**11月10日(日) 9:30~10:55 セッション3**

**朱鷺メッセ3階 中会議室302 (C会場)**

**C3 医療と健康 (座長 田中 勝也)**

C3-1 平常時の死亡との比較を通じた災害関連死の特徴分析

永門 航 (エム・アール・アイ リサーチアソシエーツ株式会社)

深井 剛史 (エム・アール・アイ リサーチアソシエーツ株式会社)

横田 崇 (愛知工業大学)

C3-2 原子力災害被災地における地域医療の現状と課題—浪江町・大熊町・双葉町の町営診療所を中心に—

藤澤 実波 (東京大学大学院公共政策学教育部専門職学位課程)

松田 直人 (東京大学法学部第3類)

大塚 舞優 (東京大学教養学部文科Ⅲ類)

根本 豪己 (東京大学工学部都市工学科)

網敷 悟至 (東京大学工学部社会基盤学科)

多田 健太 (東京大学大学院学際情報学府)

丁 可 (東京大学大学院学際情報学府)

開沼 博 (東京大学大学院情報学環 / 東日本大震災・原子力災害伝承館)

- C3-3 災害を我がことと考え、備える行動に導くための一提案  
高田 昇一（一般財団法人 国土技術研究センター 河川政策グループ）  
岡安 徹也（一般財団法人 国土技術研究センター 情報・企画部）  
有村 盾一（株式会社 東京建設コンサルタント 海岸・海洋事業本部 海岸・海洋第二部）

- C3-4 水害時の気象変化と避難生活での健康への影響  
鬼頭 直（(財) 河川情報センター）  
田中 耕司（(財) 河川情報センター／兵庫県立大学大学院／福井大学）  
朝堀 泰明（(財) 河川情報センター）  
池内 幸司（(財) 河川情報センター／東京大学名誉教授）

- C3-5 横浜市における熱中症対策への市民選好と支払意思額  
田中 勝也（滋賀大学 経済学部／環境総合研究センター）  
赤石 一英（気象庁情報基盤部）

## 11月10日（日）11：05～12：30 セッション4

### 朱鷺メッセ2階 メインホール（A会場）

#### A4 能登半島地震Ⅱ（座長 中村 功）

- A4-1 大規模災害時緊急撮影に関する一考察 令和6年能登半島地震における自主撮影を事例として  
藤原 紘子（株式会社パスコ 経営戦略本部 災害対策部）  
下村 博之（株式会社パスコ 経営戦略本部 災害対策部）
- A4-2 令和6年能登半島地震時の初動期における輪島市災害対策本部の空間利用と情報活動  
柴野 将行（吹田市 総務部危機管理室）  
北野 翔（輪島市 総務部防災対策課）  
中本 健太（輪島市 総務部防災対策課）  
有吉 恭子（吹田市 総務部危機管理室／関西大学）  
越山 健治（関西大学）
- A4-3 令和6年能登半島地震の発生時の新潟市民の行動と意識の変化—新潟市民に対するアンケート調査—  
瀧澤 典彦（新潟市役所 危機管理防災局危機対策課）  
武内 奨（新潟市役所 危機管理防災局危機対策課）  
笹川 慶太（新潟市役所 危機管理防災局危機対策課）  
佐藤 翔輔（東北大学 災害科学国際研究所）
- A4-4 受援経験に基づく支援パッケージの制作：吹田市が輪島市で用いた手法のモデル化に向けた試み  
佐々木俊介（早稲田大学／人と防災未来センター）  
中本 健太（輪島市防災対策課）  
柴野 将行（大阪府吹田市危機管理室／人と防災未来センター）  
上遠野永生（早稲田大学）  
有吉 恭子（大阪府吹田市危機管理室／関西大学社会安全研究センター／人と防災未来センター）
- A4-5 能登半島地震における津波避難と新通信メディアの課題-珠洲市・輪島市住民アンケート調査-をもとに  
中村 功（東洋大学 社会学部 メディアコミュニケーション学科）  
中森 広道（日本大学 文理学部社会学科）

**11月10日(日) 11:05~12:30 セッション4**

**朱鷺メッセ3階 中会議室301 (B会場)**

**B4 気象・水害IV (座長 荒木 裕子)**

B4-1 2024年7月25日に山形県庄内・最上地方で発生した豪雨災害に対する調査報告(その1)  
～市町村防災担当職員の避難情報発令判断に着目して

山本 由佳 (環境防災総合政策研究機構(CeMI) 気象防災支援・研究センター)  
荒木 優弥 (環境防災総合政策研究機構(CeMI) 環境・防災研究所)  
加村 邦茂 (環境防災総合政策研究機構(CeMI) 環境・防災研究所)  
大石 温子 (環境防災総合政策研究機構(CeMI) 環境・防災研究所)

B4-2 気象庁リアルタイム危険度マップ「キキクル」と気象再解析技術を活用した  
熊本県におけるエビデンスに基づく豪雨対応訓練

大津山堅介 (東京大学 先端科学技術研究センター)  
太田 琢磨 (気象庁 気象研究所 応用気象研究部)  
堀田 純司 (気象庁 大気海洋部 気象リスク対策課)  
和田 大志 (熊本県 知事公室 危機管理防災課)  
牧原 康隆 (東京大学 先端科学技術研究センター)  
隈 健一 (東京大学 先端科学技術研究センター)  
中村 尚 (東京大学 先端科学技術研究センター)

B4-3 特別警報の導入に見る気象庁の政策決定過程の変容

島川 英介 (東洋大学国際学研究科/日本放送協会)

B4-4 宇宙天気予報の防災情報としての実用性と課題

斉田季実治 (NPO 法人気象キャスターネットワーク/一般社団法人 ABLab 宇宙天気プロジェクト)  
玉置 晋 (一般社団法人 ABLab 宇宙天気プロジェクト/茨城大学)  
石田 彩貴 (一般社団法人 ABLab 宇宙天気プロジェクト)  
西田 美樹 (一般社団法人 ABLab 宇宙天気プロジェクト)  
上原 諒 (NPO 法人気象キャスターネットワーク)

B4-5 伊勢湾台風による名古屋市避難者の避難元と避難先及び3次避難に関する事例調査

荒木 裕子 (京都府立大学 生命環境科学研究科/東海国立大学機構名古屋大学 減災連携研究センター)  
倉田 和己 (東海国立大学機構名古屋大学 減災連携研究センター/株式会社 ファルコン)  
田代 喬 (東海国立大学機構名古屋大学 減災連携研究センター)  
末松 憲子 (東海国立大学機構名古屋大学 減災連携研究センター)

**11月10日(日) 11:05~12:30 セッション4**

**朱鷺メッセ3階 中会議室302 (C会場)**

**C4 復興・伝承 (座長 廣井 悠)**

C4-1 福島県浜通り地域の子どもを取り巻く環境について

—浪江町・双葉町・大熊町・富岡町へのヒアリングから—

田中 千福 (東京大学教養学部理科I類)  
中尾 創 (東京大学工学部社会基盤学科)  
鍵 慶和 (東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻)  
奥山 泰冴 (福島大学共生システム理工学類)

根本 豪己 (東京大学工学部都市工学科)  
網敷 悟至 (東京大学工学部社会基盤学科)  
吉田 豊 (筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群)  
開沼 博 (東京大学大学院 情報学環/東日本大震災・原子力災害伝承館)

C4-2 福島復興を再考する：双葉町・大熊町・富岡町・浪江町の飲食店事業者の語りから (4)  
「賃金設定」について

根本 豪己 (東京大学 工学部都市工学科)  
吉田 豊 (筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群)  
山田 拓実 (東京大学大学院 情報学環)  
開沼 博 (東日本大震災・原子力災害伝承館)

C4-3 災害伝承において障壁となりうる「著作権」の問題～関東大震災手記『大震の日』復刻作業の経験から～  
木戸 崇之 ((株) エー・ビー・シー リブラ (朝日放送テレビ報道局より出向))

C4-4 関東大震災後の不祥事の原因を考える：「愚漫大人見聞録」が記す朝鮮人殺傷事件  
武村 雅之 (東海国立大学機構名古屋大学特任教授 減災連携研究センター)

C4-5 映像記録の高精細化・カラー化が視聴者に与える影響

廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター)  
落合 淳 (NHK エデュケーショナル)  
木村 春奈 (NHK エデュケーショナル)

**11月10日(日) 13:50～15:15 セッション5**

**朱鷺メッセ2階 メインホール (A会場)**

**A5 南海トラフ地震臨時情報Ⅰ (座長 作間 敦)**

A5-1 臨時情報巨大地震注意の発表に伴う社会事象と事前抽出 課題の比較に関する一考察

千葉 啓広 (名古屋大学 減災連携研究センター)  
羽田野拓己 (名古屋大学 減災連携研究センター)  
岡田 恵実 (豊橋市役所)  
荒木 裕子 (京都府立大学大学院 生命環境科学研究科)  
水井 良暢 (リアルタイム地震・防災情報利用協議会/防災科学技術研究所)  
中村 洋光 (防災科学技術研究所)  
平山 修久 (名古屋大学 減災連携研究センター)

A5-2 2024年8月8日日向灘の地震での臨時情報に係る新聞記事データベース解析

平山 修久 (名古屋大学減災連携研究センター)  
木作 尚子 (名古屋大学減災連携研究センター)  
千葉 啓広 (名古屋大学減災連携研究センター)  
野村 一保 (名古屋大学減災連携研究センター)  
福和 伸夫 (名古屋大学)

A5-3 「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」に関する意識調査 ー主として大学生に対する調査よりー

松丸 亮 (東洋大学 国際学部 国際地域学科)



A5-4 令和6年8月8日南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）発表直後の住民の反応  
安本 真也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）  
石橋 真帆（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）  
作間 敦（NTT データ経営研究所）  
荒木 優弥（特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構）  
関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

A5-5 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の確率論的な情報としての受け取られ方  
作間 敦（NTT データ経営研究所）  
安本 真也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）  
石橋 真帆（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）  
荒木 優弥（特定非営利活動法人 環境防災総合政策研究機構）  
関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

### 11月10日（日）13:50～15:15 セッション5

#### 朱鷺メッセ3階 中会議室301（B会場）

#### B5 メディア・コミュニケーションI（座長 竹之内 健介）

B5-1 AIを用いた避難支援システムに対する評価

米山 太賀（東京大学大学院 学際情報学府）  
範 懿（元 東京大学大学院 学際情報学府）  
石橋 真帆（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）  
横山 広美（東京大学国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構）  
関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

B5-2 Xへの投稿行為と地域における昼間人口との差異分析

一東日本大震災以降の福島県双葉郡の関係人口「見える化」を目指して一  
三浦 瑞貴（東京大学大学院学際情報学府）  
関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

B5-3 新聞記事における時空間情報を持つ災害因果表現の抽出

塩崎 洸（株式会社構造計画研究所）  
坂平 文博（大阪工業大学 情報科学部）  
志村 泰知（株式会社構造計画研究所）  
小野晋太郎（株式会社構造計画研究所）  
廣井 悠（東京大学 先端科学技術研究センター）

B5-4 メディアにあらわれる「支援者アクター」：2024年能登半島地震における言説分析を中心に

樊 柏君（名古屋大学大学院 情報学研究科）  
梶山 佑（名古屋大学大学院 情報学研究科）  
山本 竜大（名古屋大学大学院 情報学研究科）

B5-5 「動画で雨トレ Video Ametore」による災害シナリオ体験の社会創出

竹之内健介（香川大学 創造工学部）

**11月10日(日) 13:50~15:15 セッション5**

**朱鷺メッセ3階 中会議室302 (C会場)**

**C5 地震・津波・火山I (座長 岡田 夏美)**

- C5-1 富士山登山者と御嶽山登山者の活火山に対する防災意識の比較分析  
中村 美月 (山梨大学大学院 医工農学総合教育部修士課程工学専攻)  
佐藤 史弥 (山梨大学地域防災・マネジメント研究センター)  
秦 康範 (日本大学危機管理学部)
- C5-2 余震予測式パラメータ推定の高度化の例から考える大地震後の短期余震予測情報の公開の在り方について  
橋本 龍空 (三重大学大学院 生物資源学研究所)  
葛葉 泰久 (三重大学 地域圏防災・減災研究センター)
- C5-3 マルチエージェントシミュレーションによる津波災害時の消防団による避難支援活動の評価(第一報)  
山吹 和也 (北海道大学大学院情報科学研究院 システム情報科学部門 システム創成学分野)  
小野里雅彦 (北海道大学大学院情報科学研究院 システム情報科学部門 システム創成学分野)  
田中 文基 (北海道大学大学院情報科学研究院 システム情報科学部門 システム創成学分野)
- C5-4 地震計を使った防災教育カリキュラムの開発 その②—体感先行モデルを軸とした防災授業の実践—  
黒澤宗一郎 (京都大学大学院 情報学研究所)  
岡田 夏美 (京都大学 防災研究所)  
米田 格 (京都大学 防災研究所)  
小松信太郎 (京都大学 防災研究所)  
矢守 克也 (京都大学 防災研究所)
- C5-5 地震計を使った防災教育カリキュラムの開発 その①—生活的概念と科学的概念を軸にした検討—  
岡田 夏美 (京都大学 防災研究所)  
黒澤宗一郎 (京都大学大学院 情報学研究所)  
米田 格 (京都大学 防災研究所)  
小松信太郎 (京都大学 防災研究所)  
矢守 克也 (京都大学 防災研究所)

**11月10日(日) 15:25~16:35 セッション6**

**朱鷺メッセ2階 メインホール (A会場)**

**A6 南海トラフ地震臨時情報II (座長 関谷 直也)**

- A6-1 「南海トラフ地震臨時情報」はどう伝わるか 2—放送訓練の成果と初の発表から見えた課題—  
福島 隆史 (TBSテレビ報道局)
- A6-2 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)の運用についての考察  
渋谷 和久 (関西学院大学総合政策学部)
- A6-3 臨時情報の「前」と「後」  
矢守 克也 (京都大学 防災研究所)
- A6-4 南海トラフ地震臨時情報の課題——メッセージのあいまいさとエリートパニック——  
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)

**11月10日(日) 15:25~16:35 セッション6**

**朱鷺メッセ3階 中会議室301 (B会場)**

**B6 メディア・コミュニケーションII (座長 中森 広道)**

- B6-1 桜島大正噴火カラー化写真の防災啓発効果  
鹿児島県立博物館「シン・サクラジマ」企画展のアンケート結果から  
井村 隆介 (鹿児島大学 共通教育センター)  
若松 斉昭 (鹿児島県立博物館 学芸室)
- B6-2 ALPS 処理水新聞報道に関する「風評加害」の検証—SNS 発信の変遷と説明責任に注目して  
林 智裕 (ジャーナリスト/東日本大震災・原子力災害伝承館 客員研究員)
- B6-3 災害制御可能感をもたらす要因に関する一考察  
森本 翔太 (東洋大学大学院 理工学研究科 都市環境デザイン専攻)  
及川 康 (東洋大学 理工学部 都市環境デザイン学科)
- B6-4 「令和6(2024)年能登半島地震」における情報・報道に対する被災地の住民の評価  
中森 広道 (日本大学 文理学部社会学科)  
中村 功 (東洋大学 社会学部メディアコミュニケーション学科)

**11月10日(日) 15:25~16:35 セッション6**

**朱鷺メッセ3階 中会議室302 (C会場)**

**C6 地震・津波・火山II (座長 及川 康)**

- C6-1 2024年4月3日津波警報発令時の避難行動に関する考察—沖縄県北谷町住民を対象に—  
小林 由香 (東洋大学大学院 国際学研究科 国際地域学専攻)  
松丸 亮 (東洋大学 国際学部 国際地域学科)
- C6-2 追体験から学ぶ津波避難と決断の考察  
福田 敬正 (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科)  
山口 恭平 (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科)  
川原 耕一 (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科)  
三村 暉 (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科)  
阪本真由美 (兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科)
- C6-3 人は何をもって地震が多いと感じるのか  
草野富二雄 (環境防災総合政策研究機構(CeMI))
- C6-4 中動的防災論と訴訟との関係性に関する一考察  
及川 康 (東洋大学 理工学部都市環境デザイン学科)

●ポスター発表スケジュール（詳細版）

11月9日（土）13:50～15:20（コアタイム）

発表番号奇数者：在籍責任時間 13:50～14:35

発表番号偶数者：在籍責任時間 14:35～15:20

朱鷺メッセ3階 ホワイエ

- P1 津波避難体験 VR の開発と地元中高生を対象とした防災教育への効果検証  
丸井 健（愛媛大学 工学部工学科）  
藤森 祥文（愛媛大学大学院 理工学研究科環境建設工学講座）  
羽鳥 剛史（愛媛大学 社会共創学部環境デザイン学科）  
松村 暢彦（愛媛大学 社会共創学部環境デザイン学科）  
森脇 亮（愛媛大学大学院 理工学研究科環境建設工学講座）
- P2 暴風雪・大雪時の災害デジタルアーカイブの作成  
原田 裕介（国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム）  
大宮 哲（国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム）  
武知 洋太（国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム）  
西村 敦史（国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム）
- P3 2024年7月25日に山形県庄内・最上地方で発生した豪雨災害に対する調査報告（その2）～他機関連携及び情報発信について  
荒木 優弥（環境防災総合政策研究機構(CeMI) 環境・防災研究所）  
山本 由佳（環境防災総合政策研究機構(CeMI) 気象防災支援・研究センター）  
加村 邦茂（環境防災総合政策研究機構(CeMI) 環境・防災研究所）  
大石 温子（環境防災総合政策研究機構(CeMI) 環境・防災研究所）
- P4 南海トラフ地震時のエレベータ障害による都市機能喪失人口の推計  
廣井 悠（東京大学先端科学技術研究センター）  
日下 彰宏（株小堀鐸二研究所）  
長谷川 幹（株小堀鐸二研究所）  
前田 宜浩（防災科学技術研究所）  
中村 洋光（防災科学技術研究所）  
秋山 伸一（防災科学技術研究所）  
時実 良典（応用地質株）
- P5 想起のジャーナリズムの役割と実践に関する理論的考察～東日本大震災の周年報道を中心に～  
本多 祥大（日本大学大学院 新聞学研究科博士後期課程）
- P6 肱川流域（水防災）緊急対応タイムライン 情報共有サイトの構築とその効果について  
広田 達郎（環境防災総合政策機構（CeMI））  
山本 由佳（環境防災総合政策機構（CeMI） 気象防災支援・研究センター）  
荒木 優弥（環境防災総合政策機構（CeMI） 環境・防災研究所）  
若山 晶彦（環境防災総合政策機構（CeMI））  
河井 大介（青山学院大学総合文化政策学部）

- P7 2024 年花蓮地震発生時のテレビ災害特別番組におけるキャスターコメント分析  
—能登半島地震との比較—  
福本 晋悟 (株式会社毎日放送 報道情報局報道センター (人と防災未来センター 特別研究調査員))
- P8 衛星安否確認サービス (Q-ANPI) の実利用に向けた取り組みについて  
(コロナ禍での非接触登録方式の確立)  
栗 将倫 (和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター)  
此松 昌彦 (和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター)  
郷右近英臣 (北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科)
- P9 関東大震災証言データにもとづく災害観の抽出  
石橋 真帆 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)  
関谷 直也 (東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター)
- P10 これからの「逃げ地図」を考える活用アイデア創出ワークショップの試み  
小松原康弘 (セコム株式会社 IS 研究所)  
井上 雅子 (セコム株式会社 IS 研究所)
- P11 風水害に関する報道内容の日中比較  
馮 逗逗 (群馬大学大学院理工学府 博士前期課程環境創生理工学教育プログラム)  
金井 昌信 (群馬大学大学院理工学府)
- P12 災害時の業務継続に向けた小規模住宅介護支援事業所の連携事例の報告  
安藤亜矢子 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)  
紅谷 昇平 (兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科)
- P13 令和6年能登半島地震文化財レスキュー事業における、日報システム構築の取り組み  
三谷 直哉 (国立文化財機構文化財防災センター)
- P14 豊後水道地震時の避難行動と臨時情報に関する実態調査  
岡田 夏美 (京都大学 防災研究所)  
矢守 克也 (京都大学 防災研究所)  
土井 恵治 ((一社)土佐清水ジオパーク推進協議会)  
大西 祐輔 (京都大学 情報学研究科)  
藤本 温子 (京都大学 情報学研究科)  
小林 靖悟 (京都大学 情報学研究科)  
中野 元太 (京都大学 防災研究所)
- P15 南海トラフ地震臨時情報の発表が津波浸水想定地域居住者に与えた影響  
真庭 百花 (群馬大学大学院理工学府 博士前期課程環境創生理工学教育プログラム)  
金井 昌信 (群馬大学大学院理工学府)
- P16 大規模災害時の広域応援における情報共有基盤の現状について  
坂東 淳 (徳島大学 環境防災研究センター)

- P17 災害時の連携を目的とした北海道の「道の駅」の周辺施設と人口の調査  
小山内莉々加（札幌市立大学大学院 デザイン研究科）  
小林 重人（札幌市立大学大学院 デザイン研究科）
- P18 災害・防災報道の評価軸を考えるための試行  
中川 和之（静岡大学防災総合センター客員教授（時事通信社 客員解説委員））
- P19 地域特性を踏まえた効果的な災害情報発信のための災害放送業務支援システムの開発に向けた分析  
加藤宗一郎（東京大学大学院学際情報学府）  
目黒 一郎（東京大学生産技術研究所／東京大学大学院情報学環）
- P20 風水害タイムラインに対するボランティアからの提言  
高田 昭彦（復興ボランティアタスクフォース 代表／富士フィルムビジネスイノベーションジャパン 勤務）
- P21 火山災害関する意識調査の標準的な質問紙の設計と住民意識の地域間比較  
佐藤 史弥（山梨大学地域防災・マネジメント研究センター）  
秦 康範（日本大学危機管理学部）  
本多 亮（山梨県富士山科学研究所）  
吉本 充宏（山梨県富士山科学研究所）  
安本 真也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）  
関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）  
牧 紀男（京都大学防災研究所）
- P22 令和6年能登半島地震被災地における情報入手  
入江さやか（松本大学地域防災科学研究所／東京大学大学院学際情報学府）  
安本 真也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）  
石橋 真帆（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）  
鍵 慶和（東京大学大学院学際情報学府）  
関谷 直也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）
- P23 1964年新潟地震の発生から半世紀以上を経過した地域の記憶・備え・対応に関する事例分析  
佐藤 翔輔（東北大学 災害科学国際研究所）
- P24 令和6年能登半島地震直後の報道における課題 ―地方ローカル局へのヒアリング調査をもとに―  
安本 真也（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）